

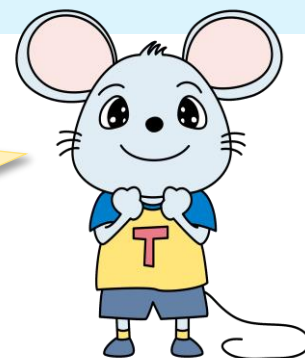
# 「地球に学ぶ」 授業・研究等 活用者募集！



「地球に学ぶ」は、海外に在住する小・中学生の「今の気持ち」をまとめた作品集です。海外で貴重な体験をしているお子さんが何を考え、何に感動し、何に悩んでいるのかをまとめた作品集や資料は少なく、大変貴重な書籍です。

このたび、本作品集(バックナンバー)を研究や授業等で有効にご活用いただける方(先生や学生等)を広く募集いたします。ご活用いただいた内容をご報告いただいた際には、弊財団Webサイト等でご紹介させていただく予定です。

次のページから、お寄せいただいた活用事例のご紹介をしています！ぜひご覧ください。



～本書をご活用いただける方は、以下の通りお申し込みください～

【対象】海外子女・帰国子女教育、日本語教育等を研究している先生・学生等

【応募方法】必要事項を記載の上、刊行物担当([publish@joes.or.jp](mailto:publish@joes.or.jp))までお知らせください。

弊財団で内容を精査の上、「地球に学ぶ」バックナンバーを寄贈させていただきます。

【必要事項】 ①ご氏名(フリガナ) ②ご所属先 ③送付先住所 ④メールアドレス  
⑤電話番号 ⑥研究内容・利用の目的 ⑦その他連絡事項

公益財団法人 海外子女教育振興財団

JAPAN OVERSEAS EDUCATIONAL SERVICES

TEL: 03-4330-1349

✉ [publish@joes.or.jp](mailto:publish@joes.or.jp)

# ～『地球に学ぶ』活用事例のご紹介～

各学校・教育関係者の皆様よりお寄せいただきました、活用事例をご紹介します！  
皆様のご参考になりましたら幸いです。

## ★イスラマバード日本語クラブ 萩原 律子 様

「地球に学ぶ」をイスラマバード日本語クラブの俳句のクラスで活用しています。日本語クラブはインターナショナルスクールに通う日本人子女の日本語補習サークルです。ここで俳句の指導に使っています。子供の作った俳句集は見当たらないので、子供に教えるのに良いと、俳句をやっている私の母に言われたのをヒントにしました。

具体的には、低学年の俳句のクラスで、毎回、数句を選び、スライドに投影。スライドには漢字の読み仮名も振ります。一緒に読んでから、どこに住んでいる子供の作った俳句かや、意味を簡単に説明。季語を言わせます。もし情景が思い当たらないような俳句の場合は、インターネットなどで集めた写真や動画を見せます。その上で好きな俳句を選んで、発言、その理由も言わせます。



俳句のクラスで実際に使用しているスライド

子どもたちは雪など北米にも憧れがありますし、ラクダ、マンゴーなどパキスタンでも馴染みの深い情景がある西アジア・中東の子供の作った俳句が好きということが多くですね。リズムや五七五に慣れ親しむだけで十分だと考えて、普段のクラスの中ではあえて俳句を作ることを強制させていません。そのうち、作りたくなる！という気持ちが出てきたときは、自由に発言させています。

## ★St. Andrews International School Bangkok 森田 清美 様



私の授業では、毎年賀状を作成したり、各学年で行った学習プロジェクトでお世話になった人へのお礼のお手紙を書いたりしており、「書く」という学習には力を入れているつもりです。子どもたちが高学年になればなるほど、「自分の気持ちを正直書くこと」や「自分の考えを発表する原稿を作る」といったことに段々と苦手意識が出てきます。

そして、「なぜ、作文を書く必要があるのか」という文章を書かなくてはならない理由まで探すようになってきます。恐らく、それだけ、「文章を書く」ということに対する苦手意識や完璧な作文といったような懸念が心の中で広がっているのであろうと察しています。そういう場面に出会う度に、私は、「(日本人であれば)自分の考えを日本語で文章に書いてまとめておくことは、自分の将来の進路や生き方等の自分の歩みたい道への大事な一つの軌跡となる」というような話をしています。それでも、「作文」という課題は敷居が高いようで、生徒の意欲は低いままです。

そうした際に、生徒が自分と似たような経験をしている他の生徒さんの気持ちが書かれた作文や作品を目に通して考えることが出来れば、作文の苦手意識の高い生徒にとっては、文章を書く自信も気持ちも大きくなるような気もしています。

★千葉大学 大学院国際学術研究院 助教 本間 祥子 様

『地球に学ぶ』を教材として利用して授業をしていただき、論文や書籍に報告をまとめていただきました。

・論文『日本語を学ぶ子どもが書く力を獲得することにはどのような意味があるのか 発達段階を捉える視点から』

<http://www.gsjal.jp/childforum/dat/jccb10-1.pdf>

・書籍『ナラティブでひらく言語教育 理論と実践』新曜社

<https://www.shin-yo-sha.co.jp/book/b584512.html>



JOES では、『地球に学ぶ』を研究や授業で活用していただける方を広く募集しております。

ご希望の方は、刊行物担当([publish@joes.or.jp](mailto:publish@joes.or.jp))までお問い合わせください。

皆様のご応募をお待ちしております！